

海洋科学者と
一緒に考えよう

脱プラスチック オーシャン

第16回「地球環境シリーズ」講演会

主催：国立研究開発法人海洋研究開発機構

後援：文部科学省、環境省(申請中)

2019年7月30日(火) 13:00~17:00
(開場12:30)

ヤクルトホール

東京都港区東新橋1-1-19 新橋駅より徒歩3分

入場無料
事前登録制

地球規模プラスチック汚染の現状

中嶋 亮太・JAMSTEC

観測から予測へ

—プラスチックオーシャンの未来

磯辺 篤彦・九州大学

技術革新で

プラスチックオーシャンに挑む

土屋 正史・小栗 一将・JAMSTEC

海洋生態系への影響を探る

北橋 倫・JAMSTEC

日本で世界で海洋科学者と 市民に出来ること

千葉 早苗・JAMSTEC

パネルディスカッション

新田 肇・日本-パラオ親善ヨットレース 実行委員会

松井 宏泰・GODAC 講演者

ペットボトルで埋め尽くされた砂浜や、プラスチックが絡まったり、飲みこんだりして死亡したクジラや海鳥の映像。今プラスチックごみによる海洋環境や生態系への悪影響に関するニュースが毎日のように報道されています。身近な海のみならず、プラスチックごみは、私たちの日常生活から遠く離れた深海や北極海、南極海にまで到達していることがわかっています。海洋プラスチック汚染は深刻な地球環境問題の一つです。

講演会では、プラスチックごみの分布やその生態系への影響を調べるために、海洋科学者が取り組んでいる技術開発や観測、予測研究についてお話しします。また、脱プラスチックオーシャンに向けて、科学者と市民が協力して出来ることを考えます。



Webサイトよりお申し込みください

<http://www.jamstec.go.jp/j/pr/event/earth-env2019/>

お問い合わせ：海洋研究開発機構 研究推進部 TEL 046-867-9603

E-mail : earth-sympo2019@jamstec.go.jp



Plastics
Smart



2021 United Nations Decade
of Ocean Science
for Sustainable Development

脱プラスチック オーシャン

海洋科学者と
一緒に考えよう

プログラム

司会：藤倉 克則

- 13:00~13:05 **開会の辞**
平 朝彦 JAMSTEC 理事長
- 13:05~13:20 **趣旨説明 - 講演会の聴きどころ -**
藤倉 克則 JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター長
- 13:20~13:50 **地球規模プラスチック
汚染の現状**
中嶋 亮太 JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター
海洋プラスチック動態研究グループ 研究員
- 13:50~14:20 **観測から予測へ
-プラスチックオーシャンの未来-**
磯辺 篤彦 九州大学 応用力学研究所 教授
- 14:20~14:35 **休憩**
- 14:35~15:05 **技術革新で
プラスチックオーシャンに挑む**
土屋 正史 JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター
海洋プラスチック動態研究グループ GL代理
小栗 一将 JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター
海洋プラスチック動態研究グループ
主任技術研究員
- 15:05~15:35 **海洋生態系への影響を探る**
北橋 倫 JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター
海洋プラスチック動態研究グループ
特任技術副主任
- 15:35~16:05 **日本で世界で海洋科学者と
市民に出来ること**
千葉 早苗 JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター
海洋プラスチック動態研究グループ GL
- 16:05~16:15 **休憩**
- 16:15~16:55 **パネルディスカッション**
新田 肇 日本-パラオ親善ヨットレース実行委員会 事務局長
松井 宏泰 JAMSTEC 国際海洋環境情報センター (GODAC)
管理課 課長
講演者
- 16:55~17:00 **閉会の辞**
阪口 秀 JAMSTEC 理事

第16回「地球環境シリーズ」講演会

2019年7月30日 火

13:00~17:00 (開場 12:30)

ヤクルトホール



東京都港区東新橋1-1-19 新橋駅より徒歩3分



複数のポリ袋
1988年2月13日撮影
駿河湾 1383m
ドルフィン-3K 第11回潜航



ポリ袋と思われる海底のごみ
1998年5月20日撮影
マリアナ海溝 10898m
かいこう 第73回潜航

これらの画像は、JAMSTECの「深海デブリデータベース」に掲載しているものです。深海デブリデータベースでは、JAMSTECが保有する「しんかい6500」や「ハイパードルフィン」などの潜水調査船や無人探査機等による潜航調査で撮影された映像や画像に映っている、深海に沈む「ゴミ(デブリ)」の情報を公開しています。